

大会名 Competition	第31回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-110	Year Month Day Time 2018 年 5 月 4 日 16 : 40
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB															
能代工業	<table border="1"> <tr><td>16</td><td>1st</td><td>9</td></tr> <tr><td>21</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>12</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>26</td></tr> <tr><td colspan="3">E P</td></tr> </table>	16	1st	9	21	2nd	12	21	3rd	12	20	4th	26	E P			洛 南
16	1st	9															
21	2nd	12															
21	3rd	12															
20	4th	26															
E P																	
78 ○		59 ●															

主審:Crew chief  
小川裕之 秋田  
副審:Umpire  
古川俊和 福島  
田村高光 秋田  
テーブルオフィシャル:Table officials  
青森商業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	遠田 貴大	CAP	4	0	2	0	2	4	×	笹山 陸	CAP	10	0	5	0	1
5	×	新田 由直		12	0	6	0	3	5	×	飯尾 文哉		18	0	7	4	2
6	/	牧野 湧		5	0	2	1	1	6	×	納土 修太		13	0	6	1	5
7	/	齋藤 創		0	0	0	0	2	7	/	澁谷 鍊		3	0	0	3	0
8	×	高橋 日向		3	0	1	1	1	8	/	永山 快		2	0	0	2	0
9	×	佐藤 侃		8	2	1	0	1	9	×	浅野 龍悟		0	0	0	0	4
10	×	秋元 淳之介		22	2	7	2	3	10		西村 慶太郎		-	-	-	-	0
11	/	須藤 陸		6	2	0	0	1	11		細井 征		-	-	-	-	0
12	/	伊東 翼		8	0	2	4	3	12	×	星川 堅信		11	0	3	5	0
13	/	中山 玄己		3	0	1	1	1	13	/	原田 太一		0	0	0	0	0
14	/	上村 悠真		0	0	0	0	2	14	/	井ノ元 孝太朗		0	0	0	0	0
15	/	佐々木 駿汰		7	1	2	0	1	15	/	北橋 岳洋		2	0	0	2	4
16		上村 大佐		-	-	-	-	0	16	/	藪田 陽人		0	0	0	0	0
17		森山 陽向		-	-	-	-	0	17	/	浅野 ケニー		0	0	0	0	0
18	/	成澤 頼		0	0	0	0	0	18	/	小川 敦也		0	0	0	0	0
コーチ		杉沢 政						0	コーチ		吉田 裕司						0
コーチ		小野 秀二						0	コーチ		河合 祥樹						0
合計				78	7	24	9	21	合計				59	0	21	17	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 イントシュート 2P:2P率 イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

#### Score ranking [Team]

1	22	28.21%	秋元 淳之介
2	12	15.38%	新田 由直
3	8	10.26%	佐藤 侃

1	18	30.51%	飯尾 文哉
2	13	22.03%	納土 修太
3	11	18.64%	星川 堅信

#### Score ranking [Game]

1	22	秋元 淳之介	能代工業	2	18	飯尾 文哉	洛 南	3	13	納土 修太	洛 南
---	----	--------	------	---	----	-------	-----	---	----	-------	-----

両チームともマンツーマン・ディフェンスでぶつかり合う戦いとなった1Q。5人同士の平均身長差では6cm小さい能代工が主導権を握る展開となった。先制点は能代工#8高橋のレイアップ。さらに能代工は#10秋元がゴール下と速攻で得点を重ね、残り7分41秒で6-2とリードを奪った。洛南はスリークォーターのゾーンプレス・ディフェンスで能代工のターンオーバーを誘うなど、一時流れを変える場面があったが、オフェンス面で能代工のスイッチング・ディフェンスに苦戦。1Q終了時点でスコアは、16-9と能代工が7点差をつけた。

2Qのスタートも能代工ペース。洛南ガード陣へのトラップで奪ったボールを#11須藤が3Pにつなげて19-9。#12伊東、#5新田のミドルなどで、2Q半ばには23-11と能代工がダブルスコアでリード。洛南は1-2-2ゾーン・ディフェンスを敷くなど失点を抑えにかかる。またオフェンスでも#5飯尾がバックドアからのレイアップを決め、#6納土がアローアップでゴール下をねじ込むなど応戦。しかし能代工は素早いトランジションから得点を重ね、前半終了時点では37-21とリードを16点に拡大する。

後半に入っても、攻守両面における能代工の執拗なりバウンドと、厳しいマンツーマン・ディフェンスに洛南は活路を見いだせない。また、能代工は#10秋元がロングレンジあり、オフェンスリバウンドからのプットバックありと得点源として活躍。ガード陣の落ち着いたゲームメイクも光り、58-33と大量25点差がついた。

能代工1年生#15佐々木の3Pで口火を切った最終Q、洛南は#12星川をローポストで生かすハイローのコンビネーションなど、インサイドでの得点をたびたび狙う。また全員がよく走って速攻での得点機を作ったが、ゴールに嫌われ、また能代工のディフェンスに楽なシュートをなかなか打たせてもらえない。流れはそのまま変わらず78-59でタイムアップ。能代工が今大会2勝目を手にした。